

海軍公報

第千五百八十五號

海軍大臣官房

○通牒

官房第一七二八號ノ四

大正十年五月十七日

海軍次官 井出 謙治

吳鎮守府司令長官殿

第一、第二艦隊
外國船カチ、オノク號不開港場寄港ノ件出願ニ付別紙ノ趣旨ニ依リ許可方遞信大臣ノ照會ニ應シタル未令般該免狀交付セラレタリ

(別紙)

第七二二號

不開港場寄港免狀

- 一、船名 カチ、オノク號
- 二、國籍 英國
- 三、種類 汽船
- 四、船主氏名及國籍 英國人ヘンリー・グエスタイン
- 五、船長氏名及國籍 英國人ヘンリー・グエスタイン

海軍公報第千五百八十五號

大正十年五月十七日

大正十年五月十七日(火)

- 一、噸數 八百八拾參噸
- 二、橋ノ數 二本
- 三、網具ノ裝置 汽力
- 四、同航ノ目的 遊覽
- 五、航路 紀伊國沿岸ヨリ瀬戸内海及豊後國沿岸ニ至ル
- 六、寄港地 名 別紙ノ通

右不開港場へ寄港ヲ許可ス
本免狀有効期間ハ大正十年五月十四日ヨリ大正十年七月十三日迄トス
但必要ノ節ハ尚期間内ト雖其寄港ヲ禁止ムルコトアルヘシ
大正十年五月十四日
遞信大臣

(免狀裏面)

- 一、英國人ヘンリー・グエスタイン所有船カチ、オノク號航行心得
- 二、本船ハ帝國法令條約ヲ遵守スルハ勿論表面記載ノ各港ニ於テ警察規則及各種港則ヲ遵守スヘシ
- 三、本免狀ハ何時タリトモ日本官吏ノ求メニ應シ其ノ

四三一

1817

三、本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スヘカラス殊ニ表面記載ノ各港間ニ於テ貨物旅客ノ運搬ヲ爲スヘカラス

四、前記ノ内何レノ箇條タリトモ之ニ違背スルトキハ直ニ此ノ免狀ヲ取消スヘシ

五、此免狀ノ期間満了ノトキ又ハ免狀ヲ取消サレタルトキハ直ニ此ノ免狀ヲ返納スヘシ

寄港地名

六、出帆前地方廳ノ檢閲ヲ受クヘシ又陸海軍ニ於テ必要ト認ムルトキハ隨時檢閲スルコトアルヘシ

兵庫縣 尼ヶ崎、須磨、舞子、明石、二見、高砂、飾磨、網干、室津、相生、坂越、新濱、赤穂、岩屋、佐野、志筑、洲本、阿那賀、都志、江井、那家、室津、野島、上島、鞍掛島、宇和島、男鹿島、加島、家島、黒島、坊勢島、西島、高島、院下島、桂島、松島

岡山縣 日生、片山、玉津、長濱、牛窓、鹿忍、朝日、九幡、津田、福島、妹尾、八濱、甲浦、小串、番田、山田、宇野、日比、赤崎、味野、下津井、本莊、玉島、寄島、笠岡、鹿久居、曾島、鶴島、頭島、鴻島、大多府島、長島、前島、青島、黃島、黒島、犬島、沖敷島、沖竹子島、笠嶋島、笠島、松島、六口島、上濃地島、太濃地島、細濃地島

廣島縣

萬島、高島、上水島、下水島、寄島、片島、神島、差出島、大高島、白石島、北木島、梶子島、大島、元小島、眞鍋島、小飛島、大飛島、ハノ島、六島

山口縣

福山、手城、水呑、田尻、鞆、浦崎、松永、尾道、糸崎、三原、須波、三津、風速、内海、坂、海田市、草津、五日市、二十日市、藝島、仙醉島、走島、中治島、玉津島、津輕島、田島、百島、横島、向島、岩子島、大細島、院之島、上蒲刈島、生口島、久野島、小久野島、鹿島、阿波島、唐島、佐組島、生野島、大黒島、松島、箱島、長島、小黒島、龍王島、藍島、大芝島、小芝島、津久賀島、馬島、柏島、小駒島、横島、黒島、魚崎下島、三角島、豊島、尾久比島、齊島、長島、大黒神島

大分縣

新港、柳井津、室津、平生、室積、下松、徳山、三田尻、大海、秋穂、東岐波、須惠、端島、情島、黒島、前島、頭島、屋代島、笠佐島、沖家室島、上荷内島、水無瀬島、小水無瀬島、掛津島、浮島、平郡島、八島、上野關、佐合島、馬島、叶島、天田島、宇和島、牛島、岩井島、笠戸島、黒髮島、大津島、小島、向島

大阪府 上入津、下入津、蒲江、名護屋、高島、沖無垢島、保戸島、大島、地無垢島、堺、湊、濱寺、大津、岸和田、貝塚、佐野、樽井、箱作、淡輪、多奈川
和歌山縣 沖島、和歌浦、日方、濱中、笑島、湯淺、衣奈、由良、比井崎、御坊、卯南、切目、南部、田邊、南富田、日置、周參見、江住、和深、田並、有田、浦初島
德島縣 北灘、瀬戸、鳴戸、撫養、里浦、德島、小松島、富岡、橋浦、椿村、阿部、日和佐、牟岐、朝川、鞆浦、安喰、伊島、大島、出羽島、竹ヶ島
香川縣 引田、三本松、津田、志度、檀浦、屋島、高松、坂出、宇多浦、丸龜、多度津、仁尾、觀音寺、豐濱、城島、坂手、苗羽、池田、土庄、四海、北浦、金ヶ崎、小豊島、矢竹島、豊島、雌雄島、井島、直島、牛ヶ首島、喜平島、局島、向島、柏島、葛島、荒神島、瀬居島、與島、岩黒島、本島、廣島、手島、佐柳島、高見島、粟島、伊吹島
愛媛縣 川之江、三島、新居濱、西條、壬生川、今治、日振島、菊間、北條、三津濱、郡中、長濱、三机、平磯、三崎、八幡濱、朝浦、白浦、吉田、宇和島、三津浦、岩松、西外海、大島、中島、與居島、戸島

セラレタル區域ヲ除ク
○辭令
 海軍技手 澤守 源重郎
 同 大庭 平一
 (各通)
 歸朝ヲ命ス(諮詢海軍省)
○艦船所在
 指定ヲ要セス
 ○五月十七日午前十時調
【横須賀】 口長門、八雲、陸奥、山城、榛名、生駒、若宮、津輕、富士、勝力、橋立、滿州、千早、吹雪、如月、有明、初霜、神風、響、追風、彌生、夕風、疾風、秋風、浦風、不知火、薄雲、潜八、潜九、潜一四、潜一五、白鷹、鴻、鷗、雉、高崎、野島、薄
【石川島】 薄
【清水】 朝日
【石濱】 樺、椿
【野蒜】 楨
【氣仙沼】 桑
【大湊】 初春、初雪、劍崎

但シ軍港要港規則及要塞地帶法ニ依リ禁止又ハ制限
 海軍公報第二千五百八十五號 大正十年五月十七日

【室蘭】

春風、時雨、
吳、
鞍馬、淺間、常磐、日進、球磨、天龍、千歳、千代田、
駒橋、周防、大和、村雨、朝霧、白雲、朝潮、磯波、
浦波、綾波、葵、萩、陽炎、潜一〇、潜一一、潜一二、
潜一三、潜一六、潜一七、水六八、水六七、水七〇、
水七一、室戸、野間、能登呂

【大坂】

藤、大井、萬

【神戶】

金剛、霧島、北上、羽風、島風、
佐、伯、澤風、矢風、峯風、沖風、谷風、江風、菊

佐世保、日向、敷島、肥前、比叡、磐手、出雲、
長良、木曾、沖島、龍田、梯、榆、栗、梅、樵、
梨、竹、樅、巨橋、櫻、桐、野分、霞、
白雪、松風、燕、雁、鶴、蒼鷹、機雲、
佐多

【中城灣】

須磨、桃、柳

【與那原】

筑摩、三笠、安藝、薩摩、吾妻、
春日、對馬、阿蘇、見島、海風、山風、酒

榎、濱風、時津風、磯風、天津風、灘風、汐風、
本力風、水七五、水七三、水七三、水七四、青島

【鎮海】

杉、杉、榭、柏

【米浦】

雲雀、鶉、鶉、鶉

【旅順】

水無月、長月、菊月、卯月、
梅、桂、楓、楠

【基隆】

利根、櫻、檜、
南洋群島、
淀、松江、筑前丸、泰安丸

【上海】

關東、
明石、隅田、嵯峨

【タラカン】

知床、洲崎、
鹿島、香取

【航海中】

松山丸(十三日「トラツク」發内地へ)
伏見(十三日漢口發上海へ)
新高(十四日「サンタカン」發「タルナト」へ)
宇治鳥羽(十五日漢口發宜昌へ)
勞山(十六日佐世保發上海へ)
石見(十六日「ト」港發「ウスチカムチャツ
カ」)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

第五戰隊司令部、三笠宛

本日以後

敦賀郵便局氣付

軍艦矢矧宛

五月二十日迄到着見込ノモノハ

同 二十四日迄 同

別 府

○滞在地變更

海軍機關中尉門倉光平ハ吳ヨリ横須賀へ滞在地變更ノ儀五月十七日認許セラレタリ

○電話架設

海軍省人事局第二課長

(芝三九九二)

海軍大佐 常松 憲三

麻布區筈町一七五

海軍公報第二千五百八十五號 大正十年五月十七日

(部内限一頁)

四三五

1821

海軍公報

第二千五百八十六號

海軍大臣官房

大正十年五月十八日(水)

○令達

官房第一八五三號

大正五年八月官房第二四一五號中左ノ通改正ス

本令ハ大正十年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十年五月十八日

海軍大臣男爵加藤友三郎

第四號ノ次ニ左ノ通り追加ス

五、本手續第二號ノ振替金受領通知書並同第三號ノ

振替送金領收證ハ必要ニ依リ電信ニ依ルコトヲ

得此ノ場合ニ於テハ電信文ニ月日、金額、受授

者ノ氏名及振替送金ナル旨ヲ明カニシ尙出納官

吏ヨリ發スル電信文ニハ經費要求ノ内譯ヲモ記

載スヘシ

此ノ場合ニ在リテモ出納官吏ハ所定ノ經費要求

書ヲ横須賀海軍經理部長ニ送付スルヲ要ス

六、前號ニ依リタルトキハ本手續第三號第二項ノ領

收證及同第四號ノ振替送金領收通知書ハ該電信

寫ヲ以テ代用シ尙横須賀海軍經理部長ハ該電信

寫ヲ以テ證明ノ用ニ供スルコトヲ得

海軍公報第二千五百八十六號

大正十年五月十八日

四二七

○通牒

官房第一六五四號ノ四

大正十年五月十八日

海軍次官 井出謙治

横須賀、吳鎮守府司令長官殿

第一、第二艦隊

外國船アヅマ號不開港場寄港ノ件出願ニ付別紙ノ趣旨ニ依リ許可方遞信大臣ノ照會ニ應シタル末今般該免狀交付セラレタリ

(別紙)

第七一一號

不開港場寄港免狀

名 アヅマ號

籍 瑞西

類 帆船

(參照) 大正五年八月官房第二四一五號ハ南洋艦隊郵便所通帳金ヲ海軍經費ニ振替手續ナリ

- 一、船主氏名及國籍 瑞西人バラビシニ一外二人
- 二、船長氏名及國籍 同上
- 一、噸數 拾噸
- 一、橋ノ數 貳本
- 一、網具ノ裝置 ケツチ
- 一、回航ノ目的 娛樂
- 一、航路 東京灣ヨリ紀伊國ニ至ル各沿岸
- 一、寄港地名 別紙ノ通

右不開港場へ寄港ヲ許可ス
 本免狀有効期間ハ大正十年五月十六日ヨリ大正十一年五月十五日迄トス
 但必要ノ節ハ同期間内ト雖其寄港ヲ差止ムルコトアルヘシ
 大正十年五月十六日

遞信大臣

(免狀裏面)

- 一、本船ハ帝國法令條約ヲ遵守スルハ勿論表面記載ノ各港ニ於テ警察規則及各種港則ヲ遵守スヘシ
- 二、本免狀ハ何時タリトモ日本官吏ノ求めニ應ジ其ノ検査ヲ受クヘシ
- 三、本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スヘカラス殊ニ表面記載ノ各港間ニ於テ貨物旅客ノ運搬ヲ爲スヘカラス

- 四、前記ノ内何レノ箇條タリトモ之ニ違背スルトキハ直ニ此ノ免狀ヲ取消スヘシ
- 五、此免狀ノ期間満了ノトキ又ハ免狀ヲ取消サレタルトキハ直ニ此ノ免狀ヲ返納スヘシ
- 六、出帆前地方廳ノ檢閲ヲ受クヘシ又陸海軍ニ於テ必要ト認ムルトキハ隨時檢閲スルコトアルヘシ

アヅマ號寄港地名

- 東京府 品川、大島
 - 神奈川県 川崎、鶴見、杉田、富岡、小柴、金澤、金田灣、松輪、三崎、油壺、小網代、逗子、鎌倉、真鶴
 - 千葉縣 館山、白濱
 - 静岡県 熱海、網代、伊東、稻取、下田、江ノ浦、三津、戸田、安良里、土肥、田子、松崎、妻良、子浦、長津呂
 - 愛知縣 蒲郡、半田
 - 三重縣 津、尾鷲、鳥羽、的矢
 - 和歌山縣 湯淺、勝浦、大島、田邊
- 但シ軍港要港規則及要塞地帶法ニ依リ禁止又ハ制限セラレタル區域ヲ除ク

○ 辭令

○大正十年五月十七日

(各通)

任海軍技手
給月俸七拾圓

淺利 雄一
井上 信夫

吳海軍建築部勤務ヲ命ス

海軍技手 淺利 雄一

海軍艦政本部勤務ヲ命ス(以上海軍省)

海軍技手 井上 信夫

第四部附ヲ命ス

海軍技手 加藤 信吉

第四部勤務ヲ命ス(以上海軍艦政本部)

海軍技手 志田 市太郎

○艦船所在

指定ヲ更セシム

○五月十八日午前十時調

【横須賀】 口長門、八雲、陸奥、山城、榛名、

生駒、若宮、津輕、富士、勝力、橋立、滿州、
千早、吹雪、如月、有明、初霜、神風、響、追風、
彌生、夕風、疾風、秋風、浦風、不知火、薄雲、
潜八、潜九、潜一四、潜一五、白鷹、鴻、鷗、雉、
高崎、野島

石川島 薄

清水 朝日

石濱 櫻、椿

野蒜 楓

絞 初春、初雪

室蘭 初春風、時雨

吳 韓崎、扶桑、矢矧、伊勢、攝津、伊吹、
鞍馬、淺間、常磐、日進、球磨、天龍、千歲、千代田、
駒橋、周防、大和、村雨、朝霧、白雲、朝潮、磯波、
浦波、綾波、葵、萩、陽炎、潜一〇、潜一一、潜一二、
潜一三、潜一六、潜一七、水六八、水六七、水七〇、
水七一、室戸、野間、能登呂

大坂 藤

神戶 大井、葛

由 多摩

佐伯 口金剛、霧島、北上、羽風、島風、
巨澤風、矢風、峯風、沖風、谷風、江風、菊

【佐世保】 日向、敷島、肥前、比叡、磐手、出雲、
長良、木曾、沖島、龍田、梯、檜、栗、梅、桐、

梨、竹、樅、巨橋、櫻、樺、桐、野分、霞、
白雪、松風、燕、雁、鴿、蒼鷹、襟裳、佐多、

【中城灣】 須磨

【新舞鶴】 桃、柳

春日、對馬、阿蘇、見島、海風、山風、檜

海軍公報第二千五百八十六號 大正十年五月十八日

四二九

梗、口濱風、時津風、磯風、天津風、灘風、汐風、
太刀風、口水七五、水七二、水七三、水七四

【鎮海】 口松、杉、榎、柏

【木浦】 口雲雀、鶉、鷺、鶴

【旅順】 口水無月、長月、菊月、卯月

【馬公】 口梅、桂、楓、楠

【基隆】 利根、口檜、檜

【南洋群島】 淀、松江、筑前丸、泰安丸

【上海】 關東、明石、隅田、嵯峨

【タラカン】 知床、洲崎

【ポートマス】 口鹿島、香取

【航海中】

松山丸(十一日「トラック」發内地へ)

伏見(十二日漢口發上海へ)

新高(十四日「サンダカン」發「タルナート」へ)

宇治、鳥羽(十五日漢口發宜昌へ)

勞山(十六日佐世保發上海へ)

石見(十六日「ヘトロ」港發「ウスチカムチヤツカ」

桑(十七日氣仙沼發)

青島(十七日舞鶴發吳へ)

劍崎(十七日大湊發橫須賀へ)

○雜款

○郵便物發送先

軍艦木曾宛

當分ノ間

佐世保

軍艦滿州宛

五月二十八日迄到著見込ノモノハ

六月十四日迄同

七月十二日迄同

同二十一日迄同

馬公 高公 馬公 基隆 橫須賀

○特務艦劍崎行動豫定

地名 著

橫須賀

大湊

橫須賀

六月十一日

五月二十八日

六月七日

發

(部内限六頁)

海軍公報

第二千五百八十七號

海軍大臣官房

大正十年五月十九日(木)

○通牒

大正十年五月十八日

横須賀海軍經理部

各艦團部隊主計長殿

練習生入校ノ際旅費支給ニ關スル件

當地所在各學校へ練習生入校ニ際シ出發應ニ於テ旅費未給ノモノ多ク各校共之カ整理ニ忙殺セラレ居候状態ニ付爾今可成出發應ニ於テ支給相成様致度右照會ス

○艦船所在

指定ヲ要セス

○五月十九日午前十時調

【横須賀】 口長門、口八雲、陸奥、山城、榛名、生駒、若宮、津輕、富士、勝力、橋立、滿州、千早、口吹雪、如月、有明、初霜、神風、霧、口追風、

彌生、夕風、疾風、秋風、浦風、不知火、薄雲、口潜八、潜九、口潜一四、潜一五、口白鷹、鴻、鷗、雉、高崎、野島、

【石川島】 薄

【清水】 朝日

【石濱】 桑

【萩濱】 口樺、椿、楓

【山田】 劍崎

【大津】 初春、初雪

【室蘭】 時雨

【吳】 口春風

鞍馬、淺間、常磐、日進、球磨、天龍、千歲、千代田、駒橋、大和、口村雨、朝霧、白雲、朝潮、口磯波、浦波、綾波、葵、萩、陽炎、口潜一〇、潜一一、潜一二、口潜一三、潜一六、潜一七、口水六八、水六七、水七〇、水七一、室戸、野間、能登呂

【大阪】 藤

【神戶】 大井、葛

【廣島】 周防

【佐伯】 口金剛、霧島、口多摩、口北上、口羽風、

海軍公報第二千五百八十七號 大正十年五月十九日

四三一

鳥風、巨澤風、矢風、嶺風、沖風、巨谷風、江風、菊

佐世保 日向、敷島、肥前、比叡、磐手、出雲、長良、木曾、沖島、龍田、梯、檜、栗、梅、樞、梨、竹、樅、巨橋、櫻、桐、野分、白雲、松風、雁、鶴、蒼鷹、襟裳、佐多

中城灣 須磨

與那原 桃柳

新舞鶴 筑摩、安藝、薩摩、吾妻、春日、對馬、阿蘇、見島、海風、山風、檜、櫻、津風、磯風、天津風、灘風、汐風、太刀風、水七五、水七二、水七三、水七四

鎮海 巨松、杉、榊、柏

大連 巨水無月、長月、菊月、卯月

馬公 巨梅、桂、楓、楠

基隆 巨櫻、檜

南洋群島 淀、松江、筑前丸、泰安丸

關東

石見

上 巨明石、隅田、嵯峨、伏見、勞山

海 巨知床、洲崎

鹿島、香取

航海中

松山丸(十一日)「トラク」(發内地へ)

新高(十四日)「サンダカン」(發「タルナート」へ)
宇治、鳥羽(十五日漢口發宜昌へ)
青島(十七日舞鶴發吳へ)
三笠(十八日舞鶴發浦鹽へ)
巨雲雀、朝、鷲、鶴(十八日本浦發三千浦へ)
利根(十八日基隆發馬公へ)

○雜款

○郵便物發送先

第一艦隊司令部、長門宛

五月二十三日迄到著見込ノモノハ 横須賀

扶桑宛

五月二十四日迄到著見込ノモノハ 吳

第一艦隊司令部、長門、扶桑宛

六月一日迄到著見込ノモノハ 大分縣佐伯

同 十四日迄 同 吳

同 二十六日迄 同 大分縣佐伯

其ノ後ハ 吳

○卒業式

來五月二十五日午前十時第二期學生修業證書授與式並
第二期練習生優等卒業者御下賜品拜受式舉行

追テ當日侍從武官御差遣可相成筈

海軍潜水學校

○滞在地變更

海軍中尉荒居清治ハ佐世保ヨリ横須賀へ滞在地變更ノ
儀五月十一日認許セラレタリ

海軍公報第二千五百八十七號

大正十年五月十九日

(部内限一頁)

四三三

1828

海軍公報

第二千五百八十八號

海軍大臣官房

大正十年五月二十日(金)



○ 辭令

○大正十年五月十九日

(各通)

若林 昌之
黒田 吉之丞

任海軍拔手
給月俸七拾圓

(各通)

海軍拔手 若林 昌之
同 黒田 吉之丞

吳海軍工廠附ヲ命ス

(各通)

海軍書記 白井 秀治
海軍書記 小角 徳太郎

依願免本官

(各通)

勳七等 白江 與三
同 川井 賢太郎

海軍監獄看守ヲ命ス
月俸四拾圓ヲ給ス

海軍監獄看守
舞鶴海軍監獄附ヲ命ス

白江 與三

横須賀海軍監獄附ヲ命ス
海軍監獄看守 川井 賢太郎

願ニ依リ海軍監獄看守ヲ免ス 岩堀 清次郎

東京帝國大學助教 深作 安文

海軍教育本部事務ヲ囑託シ報酬年額四百圓ヲ贈與ス

(以上請 海軍省)

通信書記 木村 清寅

海軍軍用通信吏ヲ命ス(請 海軍省)

海軍中佐 吉田 善吾

第二部勤務ヲ命ス(請 海軍教育本部)

○ 艦船所在

指定ヲ要セス

○五月二十日午前十時調

【横須賀】 白長門、P八雲、陸奥、山城、榛名、

生駒、若宮、津輕、富士、勝力、橋立、千早、吹雪、

如月、有明、初霜、神風、響、追風、彌生、夕風、

疾風、秋風、浦風、P潜八、潜九、潜十四、潜一五、

P潜一六、P潜一七、P潜一八、P潜一九、P潜二〇、

海軍公報第二千五百八十八號 大正十年五月二十日

四三五

1829

【石川島】薄 薄雲、不知火

【下田】朝日

【清水】朝日

【石濱】桑

【荻濱】椿

【氣仙沼】巨櫛

【大湊】初春、初雪

【青森】巨春風

【青森】時雨

【吳】巨韓崎、扶桑、矢矧、伊勢、攝津、伊吹、鞍馬、淺間、常磐、日進、球磨、天龍、千歲、千代田、駒橋、大和、巨村雨、朝霧、白雲、朝霧、巨磯波、浦波、綾波、葵萩、陽炎、巨潜一〇、潜一一、潜一二、巨潜一三、潜一六、潜一七、巨水六八、水六七、水七〇、水七一、室戸、野間、能登呂、青島

【大坂】藤

【神戸】大井、周防、萬

【佐伯】巨金剛、巨多摩、巨北上、巨羽風、島風、巨澤風、矢風、峯風、沖風、巨谷風、江風、菊

【佐世保】日向、敷島、肥前、比叡、磐手、出雲、長良、木曾、沖島、巨龍田、巨梯、楡、栗、梅、巨榎、梨、竹、樅、巨橋、櫻、椿、巨桐、巨野分、巨白雲、松風、巨燕、雁、鶴、蒼鷹、標雲、佐多

【中津】須磨

【新舞鶴】巨筑摩、安藝、薩摩、吾妻、春日、對馬

【石見】見島、巨海風、山風、檜、楨、巨濱風、時津風、磯風、天津風、灘風、汐風、太刀風、巨水七五、水七二、水七三、水七四

【三浦】巨松、杉、柳、柏

【大湊】巨雲雀、鶉、鷺、鵠

【大湊】巨水無月、長月、菊月、卯月

【馬公】利根、巨梅、桂、楓、楠

【基隆】巨櫻、椿

【南洋群島】淀、松江、筑前丸、泰安丸

【關東】

【石見】石見

【上野】巨明石、隅田、嵯峨、伏見、勞山

【タラカン】知床、洲崎

【ボーンマス】巨鹿島、香取

【航海中】

松山丸(十一日「トラック」發内地へ)

新高(十四日「サンダカン」發「タルナー」へ)

鳥羽(十五日漢口發宜昌へ)

三笠(十八日舞鶴發浦鹽へ)

滿州(十九日橫濱發馬公へ)

劍崎(十九日山田發橫須賀へ)

霧島(十九日佐伯發吳へ)

宇治(十九日漢口發長沙へ)

桃、柳(二十日與那原發哨區へ)

楨(二十日綾浦發)

○雜款

○郵便物發送先

第一水雷戰隊司令部、第二十五驅逐隊、第二十六驅逐隊各艦宛

五月二十三日迄到着見込ノモノハ、佐世保
六月一日迄、同、大分縣佐伯

其ノ後ハ、吳

龍田宛

佐世保

但同隊司令部宛書類ハ五月二十三日以後ハ第二十五驅逐隊竹宛ノコト

○室戸行動豫定變更(五月十六日)
(本欄参照)

特務艦室戸ハ五月二十六日吳發同二十九日横須賀著、同三十一日「ベトロ」ヘ向ケ發ノ豫定

○殘務結了

青島ニ於ケル元臨時青島防備隊殘務本月九日結了ヤシ旨佐世保鎮守府司令長官ヨリ報告アリタリ

附記 佐世保水交支社内ニ置ケル同防備隊ノ殘務整理所ハ來ル二十二日限リ撤去ス

○臺灣虎列刺發生報(五月十一日馬公要港部軍醫長報告)

臺南州新豐郡歸仁庄媽祖廟臺灣人人夫一名出稼ノ爲メ本年四月二十二日高雄州高雄郡内燕巢庄燕巢公學校ニ來リ從業中四月二十九日發病目下虎列刺保菌者トシテ處置シ左記防遏法施行中ナリ

- 一、保菌者發見部落交通遮斷
- 二、同部落全部豫防接種施行、蠅驅除、清潔法及檢病的戸口調査實行
- 三、隣接セル岡山、旗山各郡醫師ニ對シ疑似患者ノ届出勵行

1831

海軍公報

第二千五百八十九號

海軍大臣官房

大正十年五月二十一日(日)

○令 達

官房第一九〇〇號

隨意契約及指名競争實施手續ニ依ル購買名簿中左ノ通改正ス

大正十年五月二十一日

海軍大臣 男爵 加藤 友三郎

一、地金、鑽石類

九號中「棚倉電氣株式會社、福島縣東白川郡棚倉町」ヲ削リ「揖斐川電氣株式會社、東京市京橋區新富町二丁目」ヲ加フ

一二號中「棚倉電氣株式會社、福島縣」ヲ削リ
一二號中「揖斐川電氣株式會社、東京市」ヲ加フ

一四號中「東北電化株式會社、東京市」及「藤田鑛業株式會社、大阪市」ヲ削リ「合資會社大村製煉所、東京市深川區東扇橋町」及「帝國合金精煉株式會社、東京府豊多摩郡代々幡町」ヲ加フ

一八號ノ次ニ左ノ通加フ

一九 隨意 大寺純 銑 鐵 高田鑛業株式會社 東京市

二〇 同 輪 西 銑 鐵 株式會社日本製鑛所 東京市

會計法第二十四條第四

海軍公報第二千五百八十九號

大正十年五月二十二日

四三九

1832

三、金屬材料類

二號中日本鋼管株式會社ノ住所「東京市麴町區丙幸町」丁目「神奈川縣橋本郡田島村」ニ改ム
 五、六、一〇、一一號中「合名會社古河鐵業會社、東京市」ヲ「古河電氣工業株式會社、東京市麴町區有樂町一丁目」ニ改ム
 二一號ノ次ニ左ノ通加フ

二三	隨意	航空發動機用特種鋼	日本特種鋼合資會社	東京府荏原郡大森町	會計法第三十四條第四
二三	同	ヤシガシ及青銅ノ壓搾加工品	東洋鐘伸銅株式會社	大阪市	會計法第三十四條第五

三、機械、器具類

八號中「合名會社山本螺旋紙製造所」ヲ「山本螺旋合名會社」ニ改ム
 四、電氣機械、器具、材料類

三號中「三菱電機株式會社、名古屋市」ヲ加フ
 八號中「附屬配電盤」ノ下ニ「竝ニ冷却裝置」ヲ加フ
 九、一三號中 株式會社川北電氣企業社ノ住所「東京市京橋區新着町」ヲ「大阪市北區堂島濱通一丁目」ニ改ム
 二三號中「大日本電球株式會社、東京府北豐島郡巢鴨町」ヲ削ル
 同號中「大阪電球株式會社」ヲ「タングステン電球ノミ」ニ、「廣瀬新」ヲ「特種小形電球ノミ」ニ改ム
 二五、二六號中古河電氣工業株式會社住所「橫濱市裏高島町二丁目」ヲ「東京市」ニ改ム
 三六號中「タルピン回轉用」ヲ「主機械回轉用」ニ改ム
 三八號中「清水唧筒用以下」ヲ「清水唧筒、油唧筒用直流通電機」ニ改ム

四〇號ノ次ニ左ノ通加フ

四一 指 名

二次電器用
木板セパンレーター

日本電池株式會社
湯淺蓄電池株式會社

京都市
大阪市

五、計器、通信器類

一號中「真空計、壓力計」ヲ削ル

四、五號中「株式會社之浦製作所、東京市」及「三菱造船株式會社、東京市」ヲ削ル
一三號ノ次ニ左ノ通加フ

一四 指 名

真空計
壓力計
聯 成 計

株式會社東京計器製作所
東京瓦斯電氣工業株式會社

東京市
東京市麴町區大手町

七、石炭、コークス類

一二號中「貝島鑛業株式會社」ノ住所「福岡縣鞍手郡直方町」ヲ「下關市宇唐戸町貝島商業株式會社」ニ改ム

一四號中「合名會社鈴木石炭商店、名古屋市中區下堀川町」ヲ加フ

一七、雜品類

四號中「日本塗料株式會社、東京府」ヲ「日本化學工業株式會社、東京府南葛飾郡龜戸町」ニ改ム

同號中「湯淺蓄電池株式會社、大阪市」ヲ加フ
同號ノ次ニ左ノ通加フ

海軍公報第二千五百八十九號 大正十年五月二十一日

四四一

五指名	炭 酸 瓦 斯	帝國 鑛泉 株式會社 日本 炭酸 瓦斯 株式會社	東京市 日本橋區 小網町 四丁目 東京市 淺草區 玉姬町
-----	---------	-----------------------------	---------------------------------

○ 辭 令

海軍 技手 井上 信夫
第五部勤務ヲ命ス(請テ海軍艦政本部)

○ 艦 船 所 在

指定ヲ要セス

○五月二十一日午前十時調

【横須賀】 口長門、八雲、陸奥、山城、榛名、生駒、若宮、津輕、富士、勝力、橋立、千早、吹雪、如月、有明、初霜、神風、響、追風、彌生、夕風、疾風、秋風、浦風、潜八、潜九、潜一四、潜一五、口白鷹、鴻、鷗、雉、高崎、野島

【石川島】 藻

【館山】 楨

【石濱】 桑

【秋濱】 口櫻

【蛟】 初春、初雪

【大湊】 口春風、時雨

【吳】 韓崎、扶桑、矢矧、伊勢、攝津、伊吹、鞍馬、淺間、常磐、日進、球磨、天龍、千歳、千代田、駒橋、大和、口村雨、朝霧、白雲、朝潮、磯波、浦波、綾波、萩、陽炎、潜一〇、潜一三、潜一六、潜一七、口水六八、水六七、水七〇、水七一、室戸、野間、能登呂、青島

【大 阪】 藤

【神 戶】 大井、周防、馬

【佐 伯】 口金剛、霧島、多摩、北上、口羽風、島風、巨澤風、矢風、峯風、沖風、口谷風、江風、菊風

【佐世保】 日向、敷島、肥前、比叡、磐手、出雲、長耳、木曾、沖島、龍田、口梯、楡、栗、根、口樞、梨、竹、從、口橘、櫻、桐、口野分、觀、白雪、松風、口燕、雁、鶴、蒼鷹、襟裳、佐多

【新舞鶴】 口筑摩、安藝、薩摩、吾妻、春日、對馬、阿蘇、見島、口海風、山風、楢、口濱風、時津風、破風、天津風、灘風、口沙風、太刀風、口水七五、水七二、水七三、水七四

【鐵 海】 口松、杉、柳、柏、口雲雀、鴉、鷺、編

1835

【長 公】 利根、口梅、桂、楓、楠
 【南洋群島】 淀、松江、筑前丸、泰安丸

浦 三笠
 港 關東
 石見

【上 海】 明石、隅田、嵯峨、伏見
 タラカン 知床、洲崎
 タルナーテ 新高

【ポーツマス】 口鹿島、香取

【航海中】

鳥羽(十五日漢口發宜昌)
 滿州(十九日橫須賀發馬公)
 劍崎(十九日山田發橫須賀)
 宇治(十九日漢口發長沙)
 柳(二十日與那原發哨區)
 松山丸(十九日二見發)
 口水無月、長月、菊月、卯月(二十日大連發旅順)
 勞山(二十日上海發馬公)
 基隆(二十日基隆發久慈)
 檜(二十日基隆發與那原)
 桃(二十日狩俣發中城灣)
 朝日(二十日清水發橫須賀)
 薄雲、不知火(二十日清水發鳥羽)

須磨(二十一日中城灣發)
 椿(二十一日狹濱發哨區)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

特務艦高崎宛
 五月二十六日迄到著見込ノモノハ
 同 三十日迄 同 吳 山
 同 六月二日迄 同 德 保
 同 六月十日迄 同 佐 世
 同 六月十五日迄 同 舞 鶴
 同 六月二十二日迄 同 吳 世
 共ノ後ハ 横 須 賀
 特務艦野間宛
 六月一日以後 吳郵便局留置

○ 軍艦周防行動豫定變更 (四月二十九日 本欄参照)

地名	著	發
吳		五月十八日
神 戶	五月二十日	二十二日
高 松	二十二日	二十四日
廣 島 灣	二十四日	二十五日

海軍公報第三千五百八十九號 大正十年五月二十一日

四四三

海軍公報第三千五百八十九號 大正十年五月二十二日

四四四

江田 陸軍少佐 二十五日

○赴任

米國在勤帝國大使館附武官輔佐官ニ補セラレタル海軍少佐日比野正治ハ米ノ五月二十六日横濱出帆ノ波斯丸ヲ乘リ赴任ノ豫定

皇國ハ正百員ノ...

○豫定
皇國ハ正百員ノ...

本館内限一頁

1837

海軍公報

第二千五百九十號

大正十年五月二十三日(八月)
海軍大臣官房

○令 達

官房第一九一三號

昭和七年官房第四號ノ
時刻シノチヲ廢止

廢止

海軍軍用通信吏トシテ配屬セラレタル通信省部内吏員
ノ給與ニ關シ左ノ通定ム

本令ハ大正十年一月分ヨリ之ヲ適用シ大正六年官房第
六二六號ノ二(三月一日)ハ之ヲ廢止ス

大正十年五月二十三日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

一、海軍軍用通信吏ノ給與ニ關シテハ本令ニ定ムルモ
ノヲ除クノ外海軍部内ノ軍屬ニ關スル規定ヲ準用
ス

二、艦船内ニ設置ノ海軍軍用通信所ニ在勤スル通信吏
ニハ明治四十二年勅令第二百十五號ニ基キ遞信省
ニ於テ定ムル所ニ依リ月手當及一時手當ヲ支給ス
但シ同年遞信省令第三十九號手當給與細則第五條
乃至第八條ヲ適用セズ

三、月手當及一時手當ノ金額ハ左記ニ依ル

海軍公報第二千五百九十號 大正十年五月二十三日

南洋交通船

月手當四十五圓 一時手當九十圓

北海交通船

四、月手當ヲ給スル者ニハ海軍給與令ニ依ル航海加俸
ヲ、一時手當ヲ給スル者ニハ海軍給與令ニ依ル支
度手當又ハ海軍戰時給與規則ニ依ル派遣手當ヲ支
給セズ

官房第一九一四號

大正十年五月二十三日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

各鎮守府、艦隊司令長官
各要港部、獨立艦隊司令官 殿

艦船「ベスト」ニ對スル豫防ノ件

本件ニ關シ明治三十四年海總第三二五九號ヲ以テ訓令
候處爾今廢止候條此旨心得ヘシ

(參照) ○艦船「ベスト」ニ對スル豫防ノ件

明治三十九年官房第二〇一三號「ベスト」及再降豫防消毒
法ヲ廢シ更ニ「ベスト」豫防ニ關シテハ左ノ通心得ヘシ

艦船ハ成ルベク「ベスト」アル港ニ寄泊スヘカラス若シ止ム
ス得ス寄泊スルトキハ公務上必要ノ場合ノ外ハ陸上トノ交通
ヲ斷シ糧食飲水ヲ搭載スヘカラス

四四五

1838

○辭令

通信書記補 沖山 島太

海軍軍用通信吏ヲ命ス(福海軍省)

○艦船所在

指定ヲ要セス

○五月二十三日午前十時調

【横須賀】 口長門、口八雲、陸奥、山城、榛名、

生駒、朝日、若宮、津輕、富士、勝力、橋立、千早、

口樺、楢、桑、口吹雪、如月、有明、初霜、神風、響、

口追風、彌生、夕風、疾風、秋風、浦風、口潜八、

潜九、口潜一四、潜一五、口白鷹、鴻、鷗、雄、劍埼、

野島、

【石川島】 薄

【四日市】 薄雲、不知火

【大湊】 口春風、時雨、初春、初雪

【吳】 口韓崎、扶桑、伊勢、攝津、伊吹、鞍馬、

淺間、常磐、日進、球磨、天龍、千歲、千代田、

駒橋、大和、口村雨、朝霧、白雲、朝潮、口磯波、

浦波、綾波、萩、陽炎、口潜一〇、潜一一、潜一二、

口潜一三、潜一六、潜一七、口水六八、水六七、水七〇、

水七一、室戸、野間、能登呂、青島

【大 阪】 藤

【神 戶】 大井、葛

【高 松】 周防

【德 山】 口筑摩

【佐 伯】 矢矧、口金剛、霧島、口多摩、口北上、

口羽風、島風、口澤風、矢風、峯風、沖風、口谷風、江風、

菊、葵

【佐世保】 日向、敷島、肥前、比叡、磐手、出雲、

長良、木曾、沖島、口龍田、口柿、楡、栗、梅、口榎、

梨、竹、樅、口橋、櫻、樺、桐、口野分、靛、

白雪、松風、口燕、雁、鶴、蒼鷹、襟裳、佐多

【久 慈】 口檜、檜、桃

【中 城】 須磨

【新 舞 鶴】 安藝、薩摩、吾妻、春日、對馬、

阿蘇、見島、口海風、山風、檜、榎、口濱風、時津風、

磯風、天津風、灘風、口沙風、太刀風、口水七五、

水七二、水七三、水七四

【鎮 海】 口松、杉、柏、口雲雀、鶉、鷺、

【馬 公】 利根、口梅、桂、楓、楠

【族 順】 口水無月、長月、菊月、卯月

【南洋群島】 淀、松江、筑前丸、泰安丸

【浦 鹽】 口三笠

【八 港】 關東

【上 海】 石見

口明石、岡田、嵯峨、伏見

<p>【長沙】 宇治 【宜昌】 鳥羽 【タラカン】 知床、洲崎 【タルナート】 新高 【ボックマス】 口鹿島、香取</p>	<p>【航海中】 滿州(十九日横須賀發馬公へ) 松山丸(十九日二見發) 勞山(二十日上海發馬公へ) 高崎(二十一日横須賀發吳へ) 柳(二十二日久慈發鹿兒島へ)</p>	<p>○雜款 ○郵便物發送先 驅逐艦薄宛 五月二十四日迄到著見込ノモノハ 東京石川島造船所 同 三十日迄 同 横須賀軍港 其ノ後ハ 吳軍港</p>	<p>○特務艦野間行動豫定 地 名 著 發 吳 六月一日</p>
<p>タラカン 六月十一日 二十日 吳 三十日</p>	<p>○特務艦能登呂行動豫定 地 名 著 發 吳 六月十六日 六月四日 タラカン 六月十六日 二十一日 吳 七月三日</p>	<p>○事務所撤去 東京石川島造船所内ニ設置中ノ本艦員事務所ハ五月二十四日限り撤去シ爾後艦内ニ於テ執務ス(驅逐艦薄)</p>	<p>○滞在地變更 海軍軍醫少佐西川元吉ハ横須賀ヨリ東京へ滞在地變更ノ儀五月二十一日認許セラレタリ</p> <p>○轉居 東京市麴町區上二番七番地 海軍大佐 宮治 民三郎 電話 九段一〇四三</p>

海軍公報第二千五百九十號

大正十年五月二十三日

(部内限三頁)

四四七

1840

海軍公報

第二千五百九十一號

海軍大臣官房

大正十年五月二十四日

○通牒

官房第一九二四號

大正十年五月二十四日

海軍省副官 野村吉三郎

各廳長 殿

來ル二十七日海軍記念日ニ付當日緊急事務アル者ノ外ハ任務スル儀ト御承知相成度
右依命通牒ス

官房第一九二五號

大正十年五月二十四日

海軍省副官 野村吉三郎

艦隊、鎮守府、要港部參謀長(參謀)殿

汽船「トロール」漁業許可ノ件

本件ニ關シ左記ノ通農商務省水産局ヨリ通知アリタリ
右通牒ス

記

許可番號

第七一號

住所

東京市赤坂區表町三丁目十三番地

氏名又ハ名稱

渡邊嘉一

船名

海光丸

操業區域

東海及黃海

漁獲物陸揚港

下關、博多、長崎

許可期間

許可ノ日ヨリ拾箇年

制限又ハ條件

一、朝鮮總督府及臺灣總督府令ノ定ムル「トロール」漁業ノ禁止區域ハ「トロール」漁業監視ノ乘組ヲ命シタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

許可年月日

大正十年五月十四日

○辭令

海軍公報第二千五百九十一號

大正十年五月二十四日

四四九

1841

○大正十年五月二十三日

任海軍技手 沖田 治郎
給五級俸

稅務監督局技手兼稅務署技手 宮入 清太郎

任海軍技手 給六級俸 逸見 尙義

任海軍技手 給月俸七拾圓 逸見 尙義

舞鶴海軍建築部附ヲ命ス

海軍技手 沖田 治郎

海軍火藥廠附ヲ命ス 海軍技手 宮入 清太郎

海軍技手 逸見 尙義

橫須賀海軍建築部勤務ヲ命ス 海軍技手 岡部 操

文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス
(以上諸海軍省)

東京外國語學校教授 瀧村 立太郎

海軍經理學校ニ於ケル佛語教授ヲ囑託シ報酬月額四拾圓ヲ贈與ス

東京外國語學校助教 小笠原 昌齊

海軍經理學校ニ於ケル獨逸語教授ヲ囑託ス
但報酬月額五拾圓ヲ贈與シ部内限リ委任官待遇トス

海軍經理學校ニ於ケル佛語教授ヲ囑託ス 鷲尾 猛
但報酬月額參拾圓ヲ贈與シ部内限リ委任官待遇トス(以上諸海軍省)

○艦船所在

指定ヲ要セス

○五月二十四日午前十時調

【橫須賀】 八雲、陸奥、山城、嶽名、生駒、朝日、若宮、津輕、富士、勝力、橋立、千早、樺楯、榎、桑、吹雪、如月、有明、初霜、神風、海、追風、彌生、夕風、疾風、秋風、浦風、潛八、潛九、潛一四、潛一五、白鷹、鴻、鷗、雉、劍崎、野島、品川沖、海

【大 阪】 春風、時雨、初春、初雪

【吳】 伊勢、攝津、伊吹、鞍馬、淺間、常磐、日進、球磨、天龍、千歲、千代田、駒橋、大和、村雨、朝霧、白雲、朝潮、磯波、浦波、綾波、萩、陽炎、潛一〇、潛一一、潛一二、潛一三、潛一六、潛一七、水六八、水六七、水七〇、水七一、室戸、野間、能登呂、高崎

【大 阪】 藤

【神 戶】 大井、葛

【別 府】 筑摩、矢矧

【佐伯】口金剛、霧島、多摩、北上、口羽風、島風、巨澤風、矢風、峯風、沖風、口谷風、江風、菊、葵
 【佐世保】日向、敷島、肥前、比叡、着手、出雲、長良、木曾、沖島、龍田、巨橋、櫻、樺、桐、口野分、藤、由雪、松風、檜、口燕、雁、鶴、蒼鷹、備後、佐多
 【鹿兒島】柳
 【名瀬】口檜、桃
 【新舞鶴】安藝、薩摩、吾妻、春日、對馬、阿蘇、見島、口海風、山風、檜、榎、口濱風、時津風、磯風、天津風、灘風、口沙風、太刀風、口水七五、水七二、水七三、水七四
 【海】口松、杉、柳、口雲雀、鶉、鷺、鶴
 【公】利根、口梅、桂、楓、楠、芳山
 【旅順】口水無月、長月、菊月、卯月
 【南洋群島】淀、松江、筑前丸、泰安丸
 【浦】口三笠
 【上】石見、關東
 【長沙】口明石、關田、嵯峨、伏見、宇治
 【宜昌】鳥羽
 【タラカン】知床、洲崎
 【タルカール】新高
 【トリス】口鹿島、香取

【航海中】

蒲州(十九日横須賀發馬公)
 松山丸(十九日二見發)
 口長門(二十三日横須賀發佐伯)
 須磨(二十三日中城灣發名瀬)
 口柿、楡、栗、梅、口榎、梨、竹、樅(二十三日佐世保發)
 薄雲、不知火(二十三日四日市發波浮)
 青島(二十三日吳發舞鶴)
 口韓崎(二十四日吳發佐賀關)
 周防(二十四日高松發廣島灣)
 扶桑(二十四日吳發佐伯)

○雜款

○郵便物發送先
 驅逐艦莫宛
 本日以後 第十四驅逐隊所在地(佐伯)
 第二艦隊司令部金剛、霧島宛
 五月二十九日迄到著見送ノモノハ 大分縣佐伯
 六月十日迄 同 吳
 同二十日迄 同 山口縣下松
 同二十六日迄 同 大分縣別府
 其ノ後ハ 同 佐伯

海軍公報第二千五百九十一號 大正十年五月二十四日

四五二

○特務艦佐多行動豫定

地名	著	發
佐世保		六月六日
タラカン		六月十六日
吳		七月五日
		六月二十三日

○特務艦野島行動豫定

地名	著	發
横須賀		五月三十一日
吳		六月十日
西戸崎		六月十七日
佐世保		七月十七日
馬公		七月二十一日
高雄		七月三日
佐世保		七月七日
吳		七月十四日
		七月十五日

○滞在地變更

海軍軍醫大尉三根一男ハ吳ヨリ佐世保へ滞在地變更ノ儀五月二十三日認許セラレタリ

○浦鹽「ベスト」狀況

浦鹽菊池總領事ノ報告ニ依ルニ露國側ノ「ベスト」患者調査不完全ニシテ死亡ノ數字ヲ知ルヲ得サルモ五月十四日現在調査ニ依レハ初發以來累計左ノ如シ

患者トシテ收容シタルモノ
收容死體中眞性「ベスト」ト
決定シタルモノ

八十六名
百二十七名
二百十三名

計
内 露國人
支那人

九名
二百四名

(部内限ニシテ同附録二頁)

海軍公報

第二千五百九十二號

海軍大臣官房

大正十年五月二十五日(水)

1845

○通牒

官房第一八三三號ノ四

大正十年五月二十五日

海軍次官 井出謙治

横須賀、吳鎮守府司令長官殿
第一、第二艦隊

外國船ベール號不開港場寄港ノ件出願ニ付別紙ノ趣旨ニ依リ許可方遞信大臣ノ照會ニ應シタル末今般該免狀交付セラレタリ

(別紙)

第七一三號

不開港場寄港免狀

- 一、船名 ベール號
- 二、國籍 英國
- 三、種類 帆船
- 四、船主氏名及國籍 英國人ダブルユー、ラッセル
- 五、船長氏名及國籍 同上
- 六、噸數 壹噸

海軍公報第二千五百九十二號

大正十年五月二十五日

四五三

- 一、橋ノ數 壹本
 - 二、網具ノ裝置 スループ
 - 三、同航ノ目的 娛樂
 - 四、航路 東京灣ヨリ紀伊國ニ至ル各沿岸
 - 五、寄港地名 別紙ノ通
- 右不開港場へ寄港ヲ許可ス
- 本免狀有効期間ハ大正十年五月二十四日ヨリ大正十一年五月二十三日迄トス
- 但必要ノ節ハ同期間内ト雖其寄港ヲ差止ムルコトアルヘシ
- 大正十年五月二十四日

遞信大臣

(免狀裏面)

英國人ダブルユー、ラッセル所有船ベール號

航行心得

- 一、本船ハ帝國法令條約ヲ遵守スルハ勿論表面記載ノ各港ニ於テ警察規則及各種港則ヲ遵守スヘシ
- 二、本免狀ハ何時タリトモ日本官吏ノ求メニ應シ其ノ檢査ヲ受クヘシ
- 三、本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スヘカラス殊ニ

表面記載ノ各港間於テ貨物旅客ノ運搬ヲ爲スヘ
カラス

四、前記ノ内何レノ箇條タリトモ之ニ違背スルトキハ
直ニ此ノ免許ヲ取消スルシ

五、此免狀ノ期間満了ノトキ又ハ免許ヲ取消サレタル
後キハ直ニ此ノ免狀ヲ返納スヘシ

六、出帆前地方廳ノ檢閲ヲ受クヘシ又陸海軍ニ於テ必
要ト認ムルトキハ隨時檢閲スルコトアルヘシ

寄港地名

東京府 品川、大島

神奈川縣 川崎、鶴見、杉田、富岡、小柴、金澤、金田灣、

千葉縣 館山、白濱

靜岡縣 熱海、網代、伊東、稻取、下田、江ノ浦、三津、

長津呂

愛知縣 蒲郡、半田

三重縣 津、尾鷲、鳥羽、的矢

和歌山縣 湯淺、勝浦、大島、田邊

但シ軍港要港規則及要塞地帶法ニ依リ禁止スル制限
セザレタル區域ヲ除ク

官房第一九四〇號

軍艦鳥羽ト在上海日本郵便局トノ間ニ郵便物簡糞交換

自然
消滅

開始セラル候條本邦ヨリ發送ノ郵便物ハ左記ノ通取計
相成度

大正十年五月二十五日

海軍省副官 野村吉三郎

記

- 一、信書消書ハ「上海日本郵便局氣付」トスルコト
- 一、宛名左側ニ「軍艦郵便」ト朱書スルコト
- 一、料金ハ内地ノ料金ニヨリ本邦切手ヲ貼付スルコト

○ 辭 令

○大正十年五月二十日

任海軍書記

給月俸六拾圓

石田 勝

海軍書記 石田 勝

吳海軍工廠廣支廠附ヲ命ス(陸海軍省)

兼海軍艦政本部附造兵監督助手ヲ命ス

海軍技手 志田 市太郎

同 加藤 信吉

同 田邊 一雄

同 田中 宮次

(各通)

米國へ出張ヲ命ス(以上皆陸海軍省)

海軍主計大佐 續米 篤次郎
 自今滞在地ヲ横須賀ニ指定ス(海軍大臣)
 前島五郎司
 海軍造兵生徒ヲ命ス(海軍艦政本部)

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○五月二十五日午前十時調

【横須賀】 八雲、陸奥、山城、榛名、生駒、朝日、若宮、津輕、富士、勝力、橋立、千早、巨樺、樺、槇、桑、吹雪、如月、有明、初霜、神風、響、追風、彌生、夕風、疾風、秋風、浦風、潜八、潜九、潜四、潜一五、巨白鷹、鴻、鷗、雄、劍崎、野島

【品川沖】 薄雲、不知火

【下田】 薄雲、不知火

【大湊】 伊勢、播磨、伊吹、鞍馬、淺間、常磐、白進、球磨、天龍、千歳、千代田、駒橋、大和、巨村雨、朝霧、白雲、朝潮、磯波、浦波、綾波、萩、陽炎、潜一〇、潜一一、潜一二、潜一三、潜一六、潜一七、巨水六八、水六七、水七〇、水七一、室戸、野間、能登呂、高崎

【大板】 大井、高

【廣島灣】 周防

【佐賀關】 日向、敷島、肥前、比叡、磐手、出雲、長良、木曾、沖島、龍田、巨橋、櫻、樺、桐、檜、標雲、佐多

【大村】 巨燕、雁、鶴、蒼鷹

【福江】 巨野分、白雲、松風

【鹿兒島】 柳

【新舞鶴】 安藝、薩摩、吾妻、春日、對馬、阿蘇、見島、巨海風、山風、檜、巨濱風、時津風、磯風、天津風、灘風、沙風、太刀風、巨水七五、水七二、水七三、水七四

【鎮海】 巨松、杉、柏、巨雲雀、鷗、鷗、利根、巨梅、桂、楓、楠、勞山

【旅順】 巨水無月、長月、菊月、卯月

【南洋群島】 淀、松江、筑前丸、泰安丸

【浦島】 巨三笠

【上野】 石見、關東

【長沙】 巨明石、隅田、嵯峨、伏見

【宜島】 宇治

【タラカン】 巨知床、洲崎

【マニラ】 巨鹿島、香取

【航海中】

海軍公報第二千五百九十二號 大正十年五月二十五日

四五五

浦州(十九日横須賀發馬公へ)

口長門(二十三日横須賀發佐伯へ)

口梯檜、栗、梅、口榎、梨、竹、樅(二十三日佐世保發)

青島(二十三日吳發舞鶴へ)

扶桑(二十四日吳發佐伯へ)

口金剛、霧島、口多摩、口北上、口羽風、島風、巨澤風、

矢風、峯風、沖風、口谷風、江風、菊、葵(二十四日佐伯發)

口筑摩、矢矧(二十四日別府發佐伯へ)

口櫻(二十四日名瀬發暗礁へ)

須磨、桃(二十四日名瀬發佐世保へ)

新高(二十四日「タルナ」發「スーラバヤ」へ)

○雜款

○郵便物發送先

第二戰隊司令部、筑摩、矢矧宛

六月二日迄到着見込ノモノハ

同 八日迄 同

其ノ後ハ

大分縣佐伯 吳 大分縣佐伯

○轉居並電話變更

牛込區市ヶ谷谷町四四

番町 四四九 海軍大佐 末次 信正

○正誤 本月二十三日令達欄官房第一九一四號本文初行中訓令ハ訓令ノ誤

昨二十四日日本欄滯在地變更ノ件中三根一男ハ三根一勇ノ誤

○浦鹽「ベスト」狀況(五月二十四日) 浦鹽市役所衛生課發表ノ「ベスト」統計ニ依レハ四月十日初發以來五月二十日迄ニ眞性「ベスト」患者累計二八六名(支那人二七六名、歸人十名)内一七四名ハ收容死體三〇七名中ヨリ決定セルモノニシテ海上遺棄死體ノ過半ハ眞性「ベスト」ナリ病毒益々蔓延シ終熄ノ兆ナキニ依リ遂ニ露國側ヨリ我派遣軍ニ援助ヲ求メ來リ先日來日露支協同シ熱心防疫ニ當ルコトナレ

○滿洲「ベスト」狀況(五月二十四日) 旅順要港部軍醫長電報) 二十一日奉天附屬地外ニ支那人一肺「ベスト」發生病毒徑路不明

(内張四頁)

海軍公報

第二千五百九十三號

海軍大臣官房

大正十年五月二十六日(木)

○令達

官房第一九五七號

明治三十四年二月海總第四七三二號中左ノ通改正ス

大正十年五月二十六日

海軍大臣 男爵 加藤 友三郎

- 一 海軍兵學校勤務ノ兵曹長、一 同機關兵曹長」ヲ
- 二 海軍兵學校勤務ノ特務士官、准士官」ニ改ム

參照 明治三十四年海總第四七三二號ハ各勤務ノ海軍武官中官各

ニ居住スヘキ者ノ件ナリ(會計法規程第卅九(〇)頁)

○辭令

海軍警査 中村 綱吉

支那上海へ出張ヲ命ス(海軍省)

海軍造兵生徒 大久保 敬三

海軍造兵生徒造機生徒及造兵生徒令第五條第四號ニ依
リ海軍造兵生徒ヲ免ス(海軍艦政本部)

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○五月二十六日午前十時調

【横須賀】 八雲、陸奥、山城、榛名、生駒、朝日、
若宮、津輕、富士、勝力、橋立、千早、日清、椿、楨、
桑、吹雪、如月、有明、初霜、神風、響、追風、
彌生、夕風、疾風、秋風、浦風、薄雲、不知火、薄、
八、九、一四、一五、白鷹、鴻、鷗、雄、
劍崎、野島

【大 阪】 春風、時雨、初春、初雪

【吳】 伊勢、攝津、伊吹、鞍馬、淺間、常磐、
日進、珠磨、天龍、千歳、千代田、駒橋、周防、
大和、村雨、朝霧、白雲、朝潮、磯波、浦波、綾波、
敷、陽炎、一三、一六、一七、一、
水六八、水六七、水七〇、水七一

野間、能登呂、高崎

【大 阪】 藤

【神 戶】 大井、鷗

【江 内】 一〇、一、
佐 伯 日長門、扶桑、筑摩、矢矧、柿、楡、栗、

海軍公報第三千五百九十三號 大正十年五月二十六日

四五七

梅、巨榎、梨、竹、樅、ト、轉、口、金剛、霧島、ト、多摩、
 ト、北上、巨澤風、矢風、峯風、沖風、巨羽風、島風、
 巨谷風、江風、菊、葵
 【佐世保】 日向、敷島、肥前、比叡、磐手、出雲、
 龍田、長良、木曾、須磨、沖島、巨橋、櫻、樺、
 桐、巨櫻、檜、柳、榛、栗、佐多
 【大村】 巨燕、雁、鶴、蒼鷹
 【有川】 巨野分、白雲、松風
 【新舞鶴】 安藝、薩摩、吾妻、春日、對馬、
 阿蘇、見島、巨海風、山風、檜、榎、巨濱風、時津風、
 磯風、天津風、瀨風、沙風、太刀風、巨水七五、
 水七二、水七三、水七四、青島
 【鎮海】 巨松、杉、柳、巨雲雀、鶴、鷺、編
 【馬公】 利根、巨梅、桂、楓、楠、勞山
 【旅順】 巨水無月、長月、菊月、卯月
 【南洋群島】 淀、松江、筑前丸、泰安丸
 【浦鹽】 ト、三笠
 【港】 石見、關東
 【上海】 ト、明石、隅田、嵯峨、伏見
 【長沙】 宇治
 【宜昌】 鳥羽
 【鹿島】 香取

知床(十八日「タラカン」發佐世保へ)
 洲崎(十八日「タラカン」發橫須賀へ)
 滿州(十九日橫須賀發馬公へ)
 松山丸(二十三日門司發)
 新高(二十四日「タルナトラ」發「スロラバヤ」へ)
 室戸(二十六日吳發橫須賀へ)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先
 特務艦室戸宛 本日以後 橫須賀郵便局留置
 第四戰隊司令部、多摩宛 五月二十九日迄到著見込ノモノハ、大分縣佐伯
 六月八日迄 同 吳
 特務艦劍埼宛 五月二十七日迄到著見込ノモノハ、橫須賀
 六月六日迄 同 大湊
 其ノ後ハ 橫須賀

第二水雷戰隊司令部、北上、第二驅逐隊(澤風、矢風、
 峯風、沖風)、第五驅逐隊(羽風、島風)、第十四驅逐隊
 (谷風、江風、葵、菊)宛

1850

五月二十九日迄到着見込ノモノハ 大分縣佐伯
 六月六日迄 同 吳軍港
 同 十三日迄 同 山口縣由宇
 同 十九日迄 同 吳軍港
 同 二十二日迄 同 大分縣別府
 其ノ後ハ 同 佐伯

○南洋交通船松山丸第八回輸送日割

- 一、行 先 地 東廻
 - 二、入 港 日 時 六月一日時刻未定
 - 三、出 港 日 時 六月五日時刻未定
 - 四、輸送請求締切 五月二十七日午後四時
 - 五、物件搭載締切 出港時刻ノ二時間前
 - 六、便乗者乗船時刻 出港時刻ノ二時間前
- 備考 未定事項ハ決定次第通知ス
 (横須賀海軍港務部)

○復歸

海軍軍用通信吏石田常次ハ本月十三日遞信省ニ復歸セ

○正誤

五月二十一日令達官房第一九〇〇號中「マンガン及青銅ノ壓搾加工品」ハ「マンガン青銅壓搾加工品」ノ誤
 「湯淺蓄電池株式会社」ハ「湯淺蓄電池製造株式会社」ノ誤

海軍技手北野祐七八本月二十二日死去セリ

1851

海軍公報

第二千五百九十四號

海軍大臣官房

大正十年五月二十八日(土)

○令 達

官房第一九七五號
浦鹽ニ常置ノ糧食品供給請負人ヨリ受込ムヘキ糧食品
中傳染病流行ノ爲其ノ受込ヲ危険ト認ムルトキハ他ノ
供給者ヨリ直接購買スルコトヲ得

大正十年五月二十八日
海軍大臣 男爵 加藤 友三郎

○辭 令

依願免本官(探照海軍省) 海軍書記 豊田 信恒

○艦 船 所 在

指定ヲ觀セム

○五月二十八日午前十時調

【横須賀】ト八雲、陸奥、山城、榛名、生駒、朝日、
若宮、津軽、富士、勝力、橋立、千早、臼樺、椿、楨、

海軍公報第二千五百九十四號 大正十年五月二十八日

四六二

1852

桑、吹雪、如月、有明、初霜、神風、響、追風、
疾風、彌生、夕風、秋風、浦風、薄雲、不知火、薄
八、潜九、潜四、潜一五、白鷹、鴻、雄、
劍、野鳥、
大 漢 春風、時雨
青 森 初春、初雪
伊勢、攝津、伊吹、鞍馬、淺間、常磐、
日進、球磨、天龍、千歳、千代田、駒橋、周防、
大和、村雨、朝霧、白雲、朝潮、磯波、浦波、綾波、
萩、陽炎、潜一〇、潜一一、潜一二、潜一三、
潜一六、潜一七、水六八、水六七、水七〇、水七一、
野間、能登呂、
大 阪 藤、
神 戸 大井、葛、
德 山 高崎、
佐 伯 長門、扶桑、筑摩、矢矧、梯、檜、栗、
梅、榎、梨、竹、櫻、韓崎、金剛、霧島、多摩、
北上、澤風、矢風、峯風、沖風、羽風、島風、
谷風、江風、菊、葵、
佐世保 日向、敷島、肥前、比叡、磐手、出雲、
龍田、長良、木曾、須磨、沖島、橋、櫻、椿、

○ 雜 談

○ 郵便物發送先

特務艦能登呂宛

六月四日迄到着見込ノモノハ

吳 吳郵便局留置

其ノ後ハ

特務艦青島宛

六月二日迄到着見込ノモノハ

小 函 須 賀 館 櫓

其ノ後ハ

特務艦野島宛

五月三十日迄到着見込ノモノハ

横 須 賀

同 六月九日迄 同

同 十六日迄 同

同 二十日迄 同

同 六月二日迄 同

同 六日迄 同

同 十三日迄 同

其ノ後ハ

○ 軍艦千歲行動豫定

地名 著者

吳 六月四日

桐△口櫻、梅、柳、櫻、佐多

【大村】 口燕、雁、鶴、蒼鷹

【博多】 口野分、野、白雪、松風

【新舞鶴】 安齋、薩摩△、吾妻△、春日、對馬△、

阿蘇△、見島△、口海風、山風、檜、板、口濱風、時津風、

磯風△、天津風△、灘風△、沙風、太刀風、口水七五、

水七二、水七三、水七四、青島

【鎮海】 口松、杉、桐、口雲雀、鶉、鷺、鶴

【釜山】 柏

【馬公】 利根、滿州、口梅△、桂△、楓△、楠△、勞山

【旅順】 口水無月△、長月△、菊月△、卯月△

【南洋群島】 淀、松江、筑前丸、泰安丸

【浦鹽】 A三笠

【八港】 石見、關東

【上海】 口明石、岡田、嵯峨、伏見

【長沙】 宇治

【宜昌】 鳥羽

【ギンマス】 口鹿島、香取

【航海中】

知床(十八日「タラカン」發佐世保へ)

洲崎(十八日「タラカン」發横須賀へ)

松山丸(二十三日門可發)

新高(二十四日「タルナー」發「スターバヤ」へ)

室戸(二十六日吳發横須賀へ)

横須賀 六月六日
 大湊 十三日
 ベトロバツロフスク 二十日
 十一月十五日

○第十二聯隊行動豫定

地名 著

吳須賀 六月二日
 横須賀 六月九日
 大湊 六月二十一日
 ベトロバツロフスク 五月三十一日
 六月七日
 六月十一日
 六月十五日

1854

海軍公報第二千五百九十四號

大正十年五月二十八日

(部内限三頁)

四六三

海軍公報

第二千五百九十五號

海軍大臣官房

大正十年五月三十日(月)

○通牒

官房第二〇〇〇號

大正十年五月三十日

海軍次官 井出謙治

各廳長殿

戰時餘人ヲ以テ代フヘカラサル者ニ關スル件

陸軍豫備役、後備役、補充兵役ニ在ル軍人並非職(豫備)理事ニシテ海軍各廳ニ在職シ大正十二年四月一日ヨリ大正十二年三月三十一日ニ至ル期間ニ於テ戰時餘人ヲ以テ代フヘカラサル者及特種ノ技術ヲ有スル職工ニシテ戰時必要缺クヘカラサル者有之候ハハ取調ノ上左記様式ニ依リ正副二通ヲ作り來ル七月十五日迄ニ到達スル様通報相成度

右申進ス
追テ本文通報後大正十二年三月三十一日迄ニ新任、轉免等ノ異動アルトキハ其都度通報(同様式正副二通)相成度尙通報ノ際ハ必ズ申進番號記入相成度候

海軍公報第二千五百九十五號

大正十年五月三十日

四六五

(現官)		何 聯 隊 區		(用紙或邊紙)	
兵役	兵種官等級	年	本籍地	氏名	
豫備步兵中尉		何年	何縣何市	何	某
後備工兵上等兵		何年	何町何番地	何	某
後備工兵少尉	鐵道隊		何村何番地	何	某
後備工兵軍曹	電信隊		同	何	某
後備工兵一等卒	航空隊	何年	同	何	某
補充兵工兵二等卒	電信隊	何年	同	何	某
同 步兵二等卒		何年	同	何	某
同 騎兵		何年	同	何	某

備考 一、職工ノ現職名ハ海軍工務規則ニ依ル名稱又ハ階級記入ノコト

1855

二、歸休兵ヲ記載セラルコト
 三、聯隊區毎ニ各別紙ニ記載スルコト
 四、豫後備役工兵ニシテ鐵道隊、電信隊及航空隊又ハ氣球隊ニ於テ現役ヲ終ラタル者及補充工兵ニシテ之等諸隊ニ召集セラレタル者ハ兵種官等級欄ニ其部隊名(補充兵ニアリテハ最初ノ召集部隊)ヲ記入スルモノトス

大正十年五月二十六日

海軍兵學校航海科

各艦御中

廣版海圖ニ關スル件

大正十年告二四三項ヲ以テ廣版ノ海軍海圖九十號本校生徒教授用トシテ必要有之候條御寄贈ヲ得度右御依頼ス

○辭令

依願免本官(増設海軍省) 海軍書記 澤井 昌治
 海軍技師 村上 惣次郎
 第一補助務ヲ命ス(海軍艦政本部)

○艦船所在

指定ヲ要セス

○五月三十日午前十時調

【横須賀】 八雲、陸奥、山城、榛名、生駒、朝日、若宮、津輕、富士、勝力、橋立、千早、巨樫、楢、根、桑、吹雪、如月、有明、初霜、神風、響、追風、疾風、彌生、夕風、秋風、浦風、薄雲、不知火、薄、八、潜九、潜一四、潜一五、白鷹、鴻、鷗、雉、洲崎、野島、室戸、松山丸

【浦賀】 菱

【大湊】 春風、時雨

【青森】 初春、初雪

【吳】 韓崎、伊勢、攝津、伊吹、鞍馬、淺間、常磐、日進、球磨、天龍、千歲、千代田、駒橋、周防、大和、村雨、朝霧、白雲、朝潮、磯波、浦波、綾波、萩、陽炎、潜一〇、潜一一、潜一二、潜一三、潜一六、潜一七、水六八、水六七、水七〇、水七一、野間、能登呂

【大阪】 藤

【神戸】 大井、葛

【佐伯】 長門、扶桑、筑摩、矢矧、柿、楡、栗、梅、榊、梨、竹、樅

【佐世保】 日向、敷島、肥前、比叡、磐手、出雲、龍田、長良、須磨、沖島、巨橋、櫻、樺、桐

口櫻、檜、桃、柳、口野分、靛白雲、松風、口燕、雁、鶴、
蒼鷹、榛裳、佐多、知床

【長崎】夕風

【新舞鶴】安藝、薩摩、吾妻、春日、對馬、
阿蘇、見島、口海風、山風、檜、榎、口濱風、時津風、
磯風、天津風、灘風、沙風、太刀風、口水七五、
水七二、水七三、水七四

【鐵海】口松、杉、榎、柏、口雲雀、鶉、鷺、鶴

【馬公】利根、口梅、桂、楓、楠

【高雄】勞山

【旅順】口水無月、長月、菊月、卯月、
淀、松江、筑前丸、泰安丸

【南洋群島】
A三笠

【浦】石見、關東

【上】口明石、岡田、嵯峨、伏見

【長沙】宇治

【宜昌】鳥羽

【口鹿島、香取】

【航海中】

新高(二十四日「タルナリテ」發「スーラバヤ」)

青島(二十八日舞鶴發小樽)

劍崎(二十八日橫須賀發大湊)

浦州(二十九日馬公發「バシイ」海峽)

本會(二十九日佐世保發吳)

口金剛、霧島、口多摩、口北上、口澤風、矢風、峯風、
沖風、口羽風、島風、口谷風、江風、葵、菊(三十日
佐伯發吳)

高崎(三十日徳山發佐世保)

○雜款

○驅逐艦進水

長崎三菱造船所ニ於テ建造ノ驅逐艦夕風本月二十八日
午前十一時三十分進水セリ

浦賀船渠株式會社ニ於テ建造ノ驅逐艦菱五月三十日午
前十時三十分進水セリ

○郵便物發送先

軍艦千歲宛

六月三日 日迄到着見込ノモノハ 吳

同 十日迄 同 橫須賀

同 十四日迄 同 大湊

其ノ後ハ 橫須賀海軍港務部氣付

軍艦須磨宛

六月十三日迄到着見込ノモノハ 基隆

同 二十二日迄 同 高雄

海軍公報第二千五百九十五號 大正十年五月三十日

四六七

同 二十九日迄 同 鹿兒島
其ノ後ハ 佐世保

特務艦佐多宛

六月五日迄到著見込ノモノハ 佐世保
其ノ後ハ 吳

第十二驅逐隊宛

六月六日迄到著見込ノモノハ 横須賀
同 十日迄 同 函館
同 十四日迄 同 大湊
其ノ後ハ 横須賀海軍港務部氣付

○特務艦青島行動豫定

地名 著 發
小 楢 六月三日
ネコック海 六月八日 二十七日
函 館 七月三日
横須賀 八月 七月六日 八日

(部限一頁)

1858

海軍公報

第二千五百九十六號

海軍大臣官房

大正十年五月三十一日(火)

○令 達

官房第二〇二〇號

汽船旅客運賃各等級中更ニ區分アル場合ニ支給スヘキ運賃ハ左記ニ依ル

大正十年五月三十一日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎



一、二等ニ二級アル場合

旅費等級 六等

同 七、八等

二、三等ニ二級アル場合

同 七、八等

三、揚子江航行ノ汽船ニ在リテハ特等ヲ二、官給

ヲ二等及三等ト看做シ

特等ニ二級アル場合

旅費等級 五等以上

同 六等

官給ニ二級アル場合

上級 下級

明治四十二年官房第三三五號ハ之ヲ廢止ス

海軍公報第二千五百九十六號

大正十年五月三十一日

四六九

官房第二〇一八號

東京ニ於ケル海軍軍人ノ第二種軍裝(夏装)ヲ用ツル期日ヲ來六月十六日ヨリトシ同日以降夏季ノ間晴雨ニ拘ラス之ヲ用ツ但シ學校、海軍造兵廠及軍樂隊(東京へ派遣中ノモノ)ノ職員學生生徒下士官兵ハ適宜軍袴ヲ着用スルコトヲ得此ノ場合ニ在リテハ廳長ニ於テ之ヲ指定シ齊一ナラシムルヲ要ス

大正十年五月三十一日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

○通 牒

官房第二〇二二號

大正十年五月三十一日

海軍省副官 野村吉三郎

各 廳 長 殿

浦鹽ニ於ケル國際砲交換復興方ニ關シ左記ノ通第五戰隊司令官ヨリ報告有之候
右通牒ス

記
禮砲ニ關スル件

從來當浦壘港内ニ於テハ國際日ノ外列國海軍間ノ禮砲交換ヲ施行セザル事ニ關シテハ大正八年六月十一日附第五戰隊第六〇號ヲ以テ報告ノ通ニ有之候處今同浦壘、米、支海軍指揮官ト協議ノ上大正十年五月二十五日ヨリ規定通ニ復スルコトト相成候

(大正八年六月十七日海軍公報官房第二一七三號遵照)

辭令

海軍大佐 中島 晋

北京在勤中年額千五百三十圓ヲ増給ス(海軍省)

艦船所在

指定ヲ要セス

〇五月三十一日午前十時調

【横須賀】▷八雲△、陸奥△、山城△、榛名△、生駒、朝日、若宮△、津輕△、富士△、勝力△、橋立△、千早△、巨樺、椿、楨、桑、巨吹雪、如月、有明、初霜、神風、響、巨追風、疾風、彌生、夕風、秋風△、浦風△、薄雲△、不知火、海、巨潜八、潜九、巨潜一四、潜一五、巨白鷹、鴻、鷗、雄、

洲崎、野島△、室戸、松山丸

【浦賀】菱

【大湊】巨春風、時雨、初春、初雪

【吳】巨金剛、霧島、▷多摩、球磨△、木曾、▷韓崎、伊勢、攝津△、伊吹、鞍馬、淺間、常磐、日進△、天龍、千歳、駒橋、周防、大和、▷北上、巨澤風、矢風、峯風、沖風、巨羽風、島風、巨谷風、江風、葵、菊、巨村雨、朝霧、白雲、朝潮、巨磯波、浦波、綾波、萩、陽炎、巨潜一〇、潜一一、潜一二、巨潜一三、潜一六、潜一七、巨水六八、水六七、水七〇、水七一、野間、能登呂

【大坂】藤

【神戶】大井、葛

【宮島】千代田

【佐伯】巨長門、扶桑、▷筑摩、矢矧、巨柿、楡、栗、梅、巨樞、梨、竹、縦

【佐世保】日向△、敷島、肥前、比叡△、磐手、出雲、龍田△、長良、須磨、沖島、巨橘△、櫻△、樺△、桐△、巨樫、楡、桃、柳、巨野分、霞、白雪、松風、巨燕、雁、鶴、蒼鷹、榛裳、佐多、知床

【長崎】夕風

【新舞鶴】安藝、薩摩△、吾妻△、春日、對馬△、阿蘇△、見島△、巨海風、山風、楢、椴、巨濱風、時津風、磯風△、天津風△、灘風△、汐風、太刀風、巨水七五、水七二、水七三、水七四

【鎮海】巨松、杉、桐、柏、巨雲雀、鶉、鷺、鵲

1860

【馬公】 利根、梅、桂、楓、楠

【高雄】 勞山

【旅順】 水無月、長月、菊月、卯月、

南洋群島、淀、松江、筑前丸、泰安丸

【浦】 三笠

【港】 石見、關東

【上海】 明石、隅田、嵯峨、伏見

【長沙】 字治

【宜昌】 鳥羽

【スーラバヤ】 新高

【航海中】

青島(二十八日舞鶴發小樽へ)

劍崎(二十八日横須賀發大湊へ)

滿州(二十九日馬公發「バシイ」海峽へ)

高崎(三十日徳山發佐世保へ)

口鹿島、香取(三十日「ポーツマス」發「アーウル」へ)

○ 雜 款

海軍豫備一等機關兵曹上田直大正九年一月十三日
死去セリ

海軍公報第二千五百九十六號

大正十年五月三十一日

(部内限二頁)

四七一